

第73回 長崎県軟式野球選手権大会

会期 令和5年10月28日、29日
会場 佐世保市総合グラウンド野球場
千鳥越野球場
青のまち松浦スタジアム
ライフカントリー赤坂野球場



主催 長崎県軟式野球連盟
株式会社 長崎新聞社
主管 佐世保軟式野球連盟
協力支部 県北軟式野球連盟
松浦市軟式野球連盟
平戸市軟式野球連盟
協賛 マルエス株式会社



大会ホームページ

大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール



長崎県軟式野球連盟HP
大会結果はこちらから

長崎県軟式選手権野球大会 小史

原爆が投下されてから6年目。浦上周辺も復興が進んだ昭和26年5月に、長崎市営野球場(通称・大橋球場)が完成。野球関係者が待ちに待った両翼90m、中堅115mは当時としては画期的な野球場である。

その竣工を機に長崎日日新聞社(現長崎新聞社)と長崎県軟式野球連盟の共催で県下郡市対抗軟式野球大会(現・長崎県軟式野球選手権大会)が9月に開催され五島や壱岐・対馬の離島3チームを含めた県下10郡市代表チームが集って県軟式野球の覇権を争う記念すべき大会が始まった。



昭和26年9月30日付けの長崎日日新聞紙面より

第3回(28年)大会から第15回(40年)大会までの13年間は準硬式球を使用し、10郡市代表で始まった大会も比較的本土に近い五島や壱岐は良かったが、対馬からの不参加が目立った。第12回(37年)大会は10地区(長崎、佐世保、諫早・北高、大村・東彼、島原・南高、西彼、北松、五島、壱岐、対馬)に推薦(前年優勝)の11チーム参加で行なわれたが、第13回～第15回の3年間は前年優勝+7チーム参加と制限されて開催された。

準硬式球使用時代の13年間では、9年目の昭和36年から最後の40年までに日本冷熱工業が5連覇しているが、軟式球に戻った翌41年からは大会に参加をしていない。

また第10回大会までに目立ったのが、炭鉱チームの活躍で第1回と第2回を連覇したのが日鉄御橋炭鉱(北松=吉井)。準硬式大会でも第3回で準優勝の住友潜龍炭鉱(北松=江迎)が第4回と第5回大会を連覇。第7回大会は紋珠岳炭鉱(佐世保)が初出場で初優勝。翌年の準優勝は端島炭鉱(西彼)といった具合に炭鉱チームの活躍が際立っていた。

だが日本の近代化を支えていた石炭需要も陰りを見せ始めた30年代半ばから石炭不況に見まわられて、昭和40(1965)年に日鉄御橋。42年には住友潜龍など県北地区で隆盛を誇った二つの炭鉱が相次いで閉山し、炭鉱(ヤマ)の火も消えた。

準硬式球ブームの下火に伴って、第16回(41年)大

会から軟式球に戻し、長崎国体(44年)翌年の第20回大会には10地区代表が参加。

上五島の単独(49年)や平戸・松浦・北松の分離(51年)。諫早・北高に大村・東彼の分離(54年)、島原・南高の分離(57年)等を経て16支部+推薦チーム参加の大会となったが、平成の市町村大合併で平成17年に北高来郡が消滅し15支部となった。

会場は大橋球場をメインに三菱球場や長崎商高球場を使用していたが、大橋が老朽化で平成7年解体されると翌年は神ノ島仮設野球場と三菱球場。平成9年からは、夏に竣工した県営野球場ビッグNスタジアムや、10年完成の市営かきどまり野球場の2会場を使用。

平成30年に諫早第1野球場が完成し翌年には第2野球場が併設されると、第70回記念大会は諫早2会場と大村の3会場使用で開催。

軟式が復活した昭和41年以降の大会の優勝チームは長崎市や佐世保市からのチームが殆んどだったのが、昭和53年第28回大会では4年前の昭和49年に福江南松地区から単独となった上五島代表の『奈良尾クラブ』が優勝したのは特筆もので、近年では同地区の舩田グループが二度の決勝戦進出を果たしている。

平成22年の第60回記念大会では最大の23チームが参加し、第67回大会からは推薦のA級チーム+15支部代表の参加となり、名実共に『県選手権』大会となっている。

第1回大会から70回までの歴史での偉業は大会6連覇したのが2チーム。軟式が復活した翌年の昭和42年～47年の三菱重工長崎。親和銀行は平成元年から6年まで6連覇したがソニー長崎に7連覇を阻まれた。また平成21年から26年までも6連覇達成し、第65回大会において7連覇に挑んだが二回戦でTEAM橋口から阻まれ大偉業は成らず。

令和3年の第71回大会の決勝戦は、会社名の変更による十八親和銀行と三菱重工長崎の4年連続21回目の対戦となり、十八親和銀行が三度目の大会6連覇。この年を限りに三菱重工長崎は軟式野球活動を休止することになった。翌年(R4)の第72回大会で十八親和銀行が未踏の大会7連覇を達成した。

大会役員

大会名誉会長	徳 永 英 彦	(長崎新聞社代表取締役社長)		
大会会長	八 江 利 春	(長崎県軟式野球連盟 会長)	[諫 早]	
大会副会長	津 田 祐 一	(// 副会長)	[上五島]	
	太 田 秀 穂	(// 副会長)	[東彼杵]	
	福 島 孝 俊	(// 副会長)	[長 崎]	
	佐 藤 正 美	(佐世保軟式野球連盟 会長)		
	鳥 羽 敏 明	(// 副会長)		
大会委員長	森 永	玲	(長崎新聞社取締役メディアビジネス局長)	
大会副委員長	森 田 昭 弘	(長崎県軟式野球連盟 理事長)	[県 北]	
	本 田 勇 二	(長崎新聞社メディアビジネス局事業部長)		
総務委員長	丸 山 隆 幸	(長崎県軟式野球連盟 副理事長)	[長 崎]	
総務副委員長	近 藤 幸 男	(佐世保軟式野球連盟 理事長)		
大会委員	沼 田 浩 三	[長 崎]	吉 本 行 範	[諫 早]
	中 村 正 之	[大 村]	兼 元 善 啓	[島 原]
	田 尻 政 樹	[平 戸]	松 本 強	[松 浦]
	針 崎 善 英	[福 江]	森 彰 夫	[東彼杵]
	宮 口 明	[西 海]	大 島 稔 一	[県 南]
	北 村 英 彦	[県 北]	江 口 旭	[上五島]
	白 川 透	[杓 岐]	原 田 武 茂	[対 馬]
	山 下 英 一 郎	[審判部]	田 中 康 隆	[審判部]
	藤 山 隆 一 郎	[審判部]	近 藤 省 二	[中体連]
	吉 野 徹	[広 報]	堀 田 夕 力 子	[女子部]
	千 住 良 治	[諫 早]		[以上・県連盟理事]

競 技 会 役 員

総務委員長	近 藤	幸 男	(佐世保軟式野球連盟 理事長)	
総務副委員長	北 村	英 彦	(県北軟式野球連盟 理事長)	
	松 本	強	(松浦市軟式野球連盟 理事長)	
	田 尻	政 樹	(平戸市軟式野球連盟 理事長)	
審判委員長	鳥 羽	敏 明	(佐世保軟式野球連盟 審判部長)	
審判副委員長	山 下	英 一 郎	(長崎県軟式野球連盟 審判部長)	[長 崎]
審 判 長	山 口	隆	(佐世保軟式野球連盟 審判長)	
副 審 判 長	田 中	康 隆	(長崎県軟式野球連盟 審判長)	[諫 早]
	藤 山	隆 一 郎	(長崎県軟式野球連盟審判部 事務局長)	[諫 早]
派遣審判委員	松 尾	正 治	(長 崎)	・ 兼 元 善 啓 (島 原)
	下 釜	英 智	(諫 早)	・ 横 山 孝 正 (西 海)
	法 村	俊 哉	(大 村)	・ 本 多 光 平 (県 南)
	小 柳	伊 佐 義	(大 村)	・ 佐 々 木 康 博 (上 五 島)

佐 世 保 野 球 場

総務委員長	近 藤	幸 男	(佐世保軟式野球連盟 理事長)	
総務委員	吉 川	輝 幸	・ 古 瀬 浩 一	・ 松 永 利 雄
会場審判長	山 口	隆	(佐世保軟式野球連盟 審判長)	
審判委員	岩 永	武 文	・ 鮎 川 美 則	・ 楠 本 満
	藤 瀬	新 一	・ 石 崎 政 尊	・ 川 本 翔 吾
	鴨 川	富美男	・ 橋 之 口 裕 大	・ 中 山 康 治
	天 野	浩 州	・ 吉 永 伸 二	・ 永 井 洋 人
	近 藤	省 二	・ 堀 悠 一	・ 木 原 真 一
	荒 河	壮 也	・ 下 條 光 希	・ 田 川 浩 輝
	瀬 川	栄 樹	・ 川 口 康 行	・ 加 藤 雅 可
	松 本	博 之	・ 松 尾 弘 明	・ 富 田 純
	酒 井	一 真	・ 浦 山 大 空	・ 平 野 龍
	宮 崎	暎 斗		
派遣審判委員	法 村	俊 哉	(大 村)	・ 小 柳 伊 佐 義 (大 村)

千鳥越野球場

総務委員長 北村英彦（東北軟式野球連盟 理事長）
 総務委員 永田裕一郎・前川孝師・稲澤貴史
 会場審判長 山崎誠（東北軟式野球連盟 審判長）
 審判委員 北島孝郎・朝隈斉昭・門田勝之
 宮崎正則・川本和之・阿比留憲一
 中倉良一・山田潤一郎・松田泰彦
 東川茂宏・向坂亮輔・松田一徳
 種元聖・前田和孝・西村二郎
 長野雄一郎・山下聡・湯浅昭平
 派遣審判委員 佐々木康博（上五島）

青のまち松浦スタジアム

総務委員長 松本強（松浦市軟式野球連盟 理事長）
 総務委員 岩本英明・川上広幸・井戸紳介
 会場審判長 辻田直太郎（松浦市軟式野球連盟 審判部長）
 審判委員 長谷川次男・崎尾幸一郎・山口國男
 金居信夫・加椎幸太郎・廣川聖貴
 川村淳・平田佑三郎・松本行央
 吉田政志・松瀬幸治・北川直樹
 濱渦陽・高藤圭一郎・川浪裕貴
 松本竜・松下拓鶴・太田雄三
 小佐々涉・荒木勝之・和田豊
 田崎洋介・山崎剛・川崎祐一
 岩佐宏昭・金福英一郎・吉田拡平
 廣川真聖・松浦智士
 派遣審判委員 松尾正治（長崎）・下釜英智（諫早）
 本多光平（県南）

ライフカントリー赤坂野球場

総務委員長 田尻政樹（平戸市軟式野球連盟 理事長）
 総務委員 桑山博之・小野隆一郎
 会場審判長 正木篤（平戸市軟式野球連盟 審判部長）
 審判委員 林智成・田中康一・山浦高志
 大石裕司
 派遣審判委員 兼元善啓（島原）・横山孝正（西海）

第73回 長崎県軟式野球選手権大会 実施要項

1. 主 催 長崎県軟式野球連盟 株式会社 長崎新聞社
2. 主 管 長崎県軟式野球連盟佐世保支部（佐世保軟式野球連盟）
3. 協 力 支 部 県北軟式野球連盟 ・ 松浦市軟式野球連盟 ・ 平戸市軟式野球連盟
4. 協 賛 マルエス株式会社
5. 会 期 令和5年10月28日(土)、29日(日) 【予備日】未定
※悪天候により日程を順延する場合、日程・会場は県連と主管支部が協議の上決定する。
※チームの意向は反映されないため、設定された日程及び会場で出場できないチームは、棄権とする。
6. 会 場 A：佐世保市総合グラウンド野球場 B：千鳥越野球場
C：青のまち松浦スタジアム D：ライフカントリー赤坂野球場
7. 参加チーム 2023年度に長崎県軟式野球連盟に登録された一般チームで、県連盟15支部の代表1チーム及び特別推薦A級2チームの合計17チーム
8. 出場資格 チーム編成は、監督・主将を含め9名以上25名以内で構成し、スポーツ安全保険等に加入していること。
9. 適用規則 2023年度公認野球規則、競技者必携に記載の項目及び別に定める特別規則を適用する。
10. 大会規律 不正出場、その他規律違反については(公財)全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
11. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球 マルエスM号を使用する。
12. 参加申込 各支部代表チームは、所定の参加申込書(エクセルデータ)に必要事項を正確に記入し、所属支部を経由して2023年10月14日(土)までに主管支部へE-Mailで提出すること。
※選手欄は、監督・主将以下、その他の選手は背番号の若い方から記入すること。
※参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は一切認めない。
13. 組み合わせ 組合せ抽選会は、参加申込書提出期限の翌日に主管支部役員により代理抽選を行う。
14. 参加料 25,000円 大会第一日目の会場本部で試合前に打順表と交換で納入する。
15. 監督会議 行わない。
16. 開(閉)会式 開会式 行わない
閉会式 大会最終日の決勝戦終了後、表彰式と兼ねて行う。
17. 表 彰 優勝・準優勝チームに賞状並びに優勝・準優勝旗(持ち回り)を授与する。
18. 旅費宿泊費 本大会に参加するための旅費・宿泊費は、すべてチーム負担とする。

19. そ の 他
- (1) 出場チームは、必ず背番号（0番から99番まで、監督30番・主将10番・コーチ29番・28番）及び左袖に県名をつけること。（都市名は不可）
 - (2) 木製バット以外は、（公財）全日本軟式野球連盟公認バットであること。
 - (3) 捕手は、危険防止のため（公財）全日本軟式野球連盟公認のヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用のこと。
 - (4) 打者・走者・次打者及びベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用のこと。
 - (5) 試合に出場する捕手及びブルペン捕手は、ファウルカップを着用すること。
 - (6) チームの責任は、チーム代表者または責任者において、責任を負うものとする。
 - (7) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置を施すが、それ以外の責任は負わない。

【試合方法】

- (1) 準決勝戦までは7回戦とし、決勝戦は9回戦とする。ただし、日没、降雨の恐れがある場合は7回戦とすることができる。
- (2) 得点差によるコールドゲームは、準決勝までは5回以降7点差、決勝戦は7回以降7点差とする。
- (3) 準決勝までは5回を完了して、また決勝戦は7回を完了して降雨等で試合が継続できない場合もコールドゲームを適用する。
- (4) 降雨等で上記に記載する回が未完了または完了して同点の場合は、再試合とせず特別継続試合とする。特別継続試合でのコールドゲームもある。
- (5) 大会運営上、準々決勝までは回数にかかわらずに試合開始から1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。
- (6) 時間の区切りは、1時間30分に到着した時点で先攻チームが勝っている場合は、その裏の回まで行う。後攻チームが勝っている場合は、その攻撃中の打者が打撃を終了した時点で試合を打ち切り、先攻チームが攻撃中のときはその回の終了までとする。
- (7) 準々決勝戦までは7回を終了して、または制限時間を超えて同点の場合、準決勝戦は7回を終了して同点の場合は、延長戦を行わず直ちにタイブレーク方式で決着をつける。
- (8) 決勝戦は9回を終了して同点の場合は、通常の延長戦を12回まで行い、または試合開始後、3時間を経過した時点でなお勝敗が決しない場合は次の回よりタイブレーク方式で決着をつける。
- (9) 本大会は、指名打者制度を採用する。但し、採用の可否は、チームの判断とする。

本大会についての問い合わせ先

佐世保軟式野球連盟理事長	近藤 幸男 TEL 090-8220-0367
e-mail	bb-nineshop@khc.biglobe.ne.jp
佐世保軟式野球連盟事務局	松永 利雄 TEL 090-5484-1570

第73回 長崎県軟式野球選手権大会 出場チーム

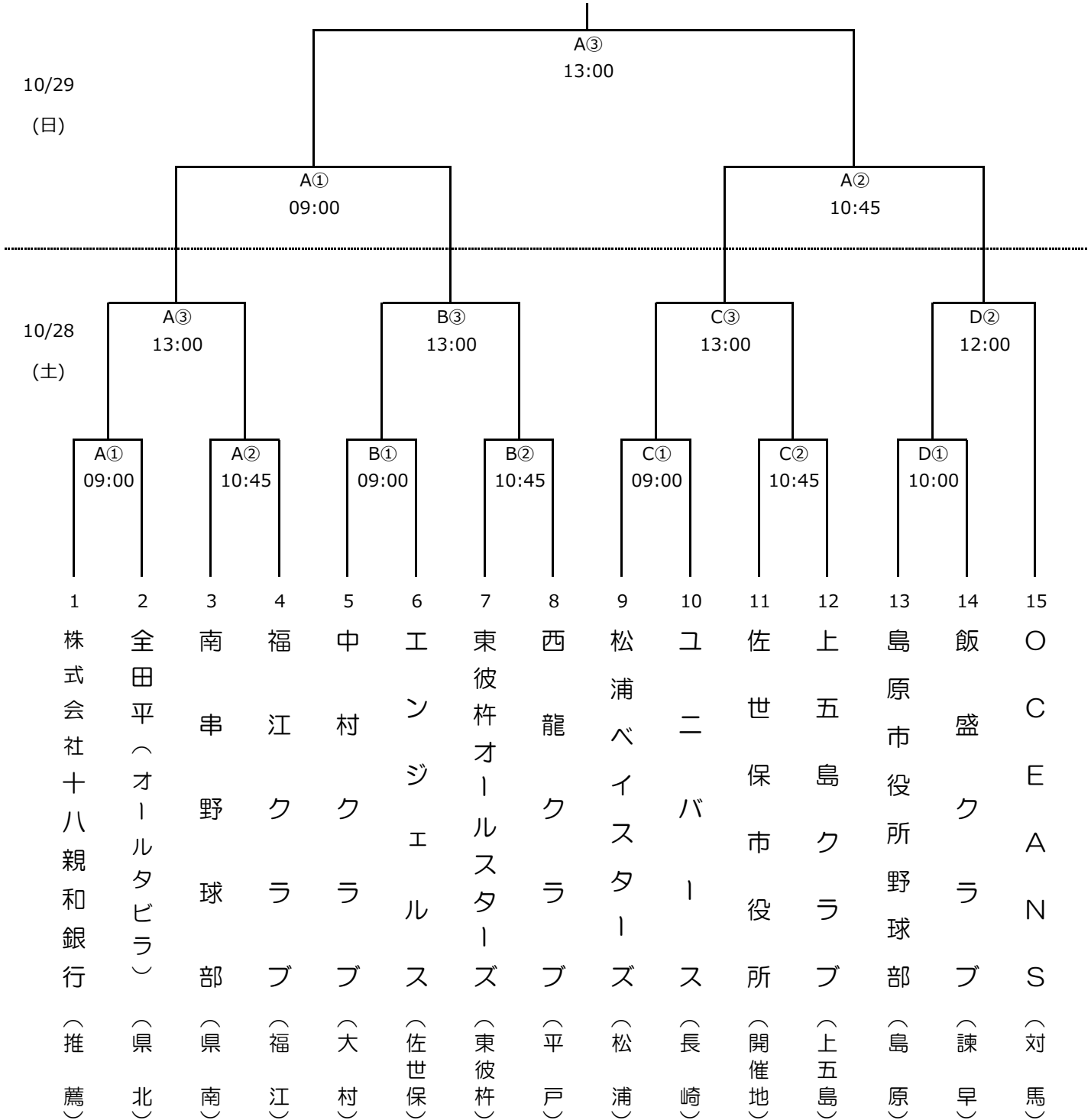
支部名	支部代表チーム (推薦チームはA級登録)	令和5年度 支部内一般登録チーム (本大会出場チーム以外を掲載)
長 崎	ユニバース(B級)	B級 = 西部ガス長崎、九電グループ長崎、長崎市役所 長崎三菱自動車販売(株)、bee Bee C級 = 長崎県庁野球部、十八親和長崎クラブ、長工クラブ、J A全農ながさき もろおか薬局、長崎市上下水道局、長崎ヤンキース 長崎市役所OB、坂本小スーパースターズ、99'ers
佐世保	株式会社十八親和銀行(推薦) エンジェルズ(B級) 佐世保市役所(B級) = 開催地	B級 = 西海クラブ、佐世保市水道局、ソリッドフェロー、ケンズ C級 = 西部ガス佐世保、ONE・PIECE 佐世保市水道局壮年、佐世保西海クラブ
諫 早	飯盛クラブ(C級)	B級 = たちばな信用金庫、轟クラブ、森山クラブ、TAKE OFF C級 = ビッグスター、諫早市役所、九州フジパン長崎工場、AZAN ヨシスポーツ、千住スポーツ壮年
大 村	中村クラブ(B級)	B級 = 大村市役所野球部、TEAM橋口、ブルーエンジェル C級 = ALL OUT、大村市役所壮年クラブ 中村クラブ壮年、TEAM橋口・S、ブルーエンジェル壮年
島 原	島原市役所野球部(C級)	C級 = 有明クラブ、島原トータス、テクノブレイク、Beams
平 戸	西龍クラブ(B級)	B級 = IBC C級 = 平戸ジャイアンツ
松 浦	松浦ベ이스ターズ(B級)	B級 = 1チームのみ C級 = 松浦市役所、中興化成工業、福島クラブ、松浦ST、松浦OT
福 江	福江クラブ(B級)	B級 = 福江球友会、福江ドリームスター、三井楽クラブ、崎山クラブ C級 = 五島市役所、FDH、富江クラブ
東彼杵	東彼杵オールスターズ(C級)	A級 = 長崎サニクリーン C級 = 彼杵スラッガーズ、波佐見ホワイトスターズ、長崎キャン 波佐見フェニックス、波佐見ローズ
西 海	不参加	B級 = 西彼オーシャンズ C級 = (株)大島造船所
県 南	南串野球部(C級)	C級 = 国見瑞穂クラブ、千々石野球クラブ 加津佐タイガース、みなんまクラブ、インスパイア
県 北	全田平(B級)	B級 = 鹿町バンビーズ、グランドスラム C級 = ナインズ、オール江迎、小値賀マスターズ、県北ロイヤルズ
上五島	上五島クラブ(B級)	B級 = 舩田グループ、若松クラブ、上五島ローズ C級 = クラブZOO、上五島ワイズ、奈良尾クラブ
壱 岐	不参加	C級 = 勝本北星、箱崎クラブ、東海クラブ、石田ジャガース
対 馬	OCEANS(C級)	B級 = 厳原マリナーズ、Bravo C級 = 対馬ビルズ、対馬・J、美津島ニューベアーズ、豊玉町野球部 ドンジャース、球王クラブ、高伸クラブ、上対馬北斗クラブ

令和5年度長崎県軟式野球連盟一般登録チーム数 A級=2 B級=38 C級=74 合計=114(前年比-5)

第73回 長崎県軟式野球選手権大会

会期 令和5年10月28日(土)、29日(日)

会場 A：佐世保市総合グラウンド野球場 B：千鳥越野球場
 C：青のまち松浦スタジアム D：ライフカントリー赤坂野球場



西海支部、壱岐支部は不参加

1	支部名 推薦		株式会社 十八親和銀行	A級
	No.	背番号		
1	30	外野手	北田亮佑	35
2	10	投手	森内麟太郎	27
3	1	外野手	鹿田海斗	28
4	3	内野手	山口優大	29
5	6	内野手	辻義大	25
6	7	内野手	澤田幸輝	24
7	8	内野手	八戸壘	23
8	9	内野手	高井航平	31
9	12	外野手	西郷龍太郎	35
10	13	投手	栗山和高	32
11	19	投手	鳥越大地	28
12	22	捕手	高坂幸靖	32
13	23	内野手	有田旺司	23
14	24	内野手	大竹紘人	29
15	25	外野手	磯祐一郎	33
16	27	外野手	貫亮介	28
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

2	支部名 県北		全田平(オールタピラ)	B級
	No.	背番号		
1	30	内野手	阿比留博明	32
2	10	内野手	田口楓	20
3	0	捕手	長崎秀将	32
4	1	投手	赤木永生	21
5	2	投手	山口祐毅	33
6	3	内野手	志水伸幸	33
7	4	内野手	山内裕生	30
8	5	内野手	東川茂宏	52
9	6	内野手	井川雄基	31
10	7	内野手	松永大輔	30
11	8	外野手	大野遥葵	21
12	9	内野手	松下龍ノ介	23
13	11	投手	山内貴矢	30
14	15	外野手	吉野優次	33
15	16	内野手	山口拓也	31
16	17	内野手	山口弘樹	33
17	18	投手	高木一喜	29
18	24	外野手	田中佑哉	28
19	25	外野手	矢羽田祐樹	37
20	27	外野手	黒木悠吾	19
21	51	投手	松瀬丈一郎	24
22	53	外野手	松永比呂	23
23	55	外野手	新立奨悟	20
24	90	投手	岡崎蒼	23
25	98	内野手	立木雄輝	23

3	支部名 県南		南串野球部	C級
	No.	背番号		
1	30	外野手	平野也実	23
2	10	内野手	中島和樹	23
3	0	内野手	松尾龍吾	23
4	1	内・外	松山隆一	22
5	2	捕手	三宅優誠	23
6	3	投・内	酒井勇河	22
7	4	内・外	林田祐介	31
8	5	内・外	川内恵輔	32
9	6	内野手	松尾信宏	23
10	7	投・外	増田憲伸	23
11	8	外野手	渡部開	24
12	9	外野手	山本真裕	22
13	11	内・外	本村壘	23
14	13	内野手	末吉亮介	22
15	22	投・外	渡部慶志	19
16	23	内野手	松永一星	22
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

4	支部名 福江		福江クラブ	B級
	No.	背番号		
1	30	外野手	大川衛吾	54
2	10	外野手	寺脇政善	49
3	0	内野手	寺脇鳳輝	23
4	1	内野手	川村伴和	50
5	2	内野手	永山雅夫	51
6	3	内野手	藤原茂雄	59
7	4	内野手	森善久	24
8	5	捕手	北川数幸	55
9	6	内野手	橋本隆義	53
10	7	外野手	竹中悠真	25
11	9	内野手	樋口貴彦	51
12	11	捕手	平野浩介	45
13	13	外野手	田中正博	52
14	14	外野手	永山汰樹	22
15	15	外野手	野下友博	54
16	16	内野手	大川翔吾	22
17	17	内野手	松本和美	51
18	18	投手	松本善広	54
19	19	投手	大内竜仁	29
20	20	内野手	白濱元博	54
21	21	外野手	平田雅彦	53
22	22	捕手	古里洋一	42
23	23	外野手	狩浦政嗣	40
24	25	外野手	大川一成	24
25	26	内野手	近藤雄太	35

5	支部名		中村クラブ	B級
	大村			
No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	投手	村田大輔	36
2	10	投手	寺井真治	35
3	0	捕手	中村正之	48
4	2	捕手	高橋真郷	25
5	5	投手	鶴瀬穰	26
6	6	内野手	鶴瀬駿	23
7	7	内野手	牟田光成	25
8	8	内野手	吉原大貴	26
9	9	外野手	古川敬一朗	36
10	11	外野手	久留啓照	28
11	13	捕手	河村憲成	31
12	16	内野手	寺田真也	25
13	17	内野手	久留崇寛	32
14	19	内野手	小柳伊佐義	48
15	20	投手	中原大介	48
16	21	外野手	馬場一聡	22
17	24	外野手	釜石義嗣	48
18	25	内野手	林田敏規	26
19	31	投手	野口隼人	30
20	41	外野手	山内晴馬	32
21	44	外野手	山本侑弥	23
22	46	内野手	眞崎秀斗	22
23	52	外野手	松添成央	22
24	55	投手	馬場公康	26
25				

6	支部名		エンジェルス	B級
	佐世保			
No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	内野手	松永利雄	43
2	10	内野手	永野大樹	31
3	0	外野手	荒河壮也	28
4	1	外野手	内橋亮太	41
5	2	内野手	大野奨人	29
6	3	外野手	南田歩夢	28
7	4	捕手	小柳譲一郎	27
8	5	外野手	徳永竜也	30
9	6	内野手	川端俊星	28
10	8	外野手	川下仁史	27
11	9	内野手	畠慎太郎	39
12	12	外野手	井手口仁阿	20
13	14	投手	久保智明	36
14	16	内野手	佐保堅太	37
15	17	外野手	益本怜	27
16	18	投手	山口正太	46
17	19	投手	野中俊暢	49
18	20	捕手	前川孝則	35
19	21	内野手	谷脇天我	19
20	22	投手	楠本翔太郎	19
21	24	内野手	大野晴彦	59
22	25	捕手	長野裕貴	31
23	29	投手	古瀬浩一	58
24				
25				

7	支部名		東彼杵オールスターズ	C級
	東彼杵			
No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	外野手	立山裕次	58
2	10	外野手	本川健	56
3	1	内野	西昭則	53
4	2	外野手	堀川築	24
5	3	内野手	八木原浩之	58
6	7	外野手	三坂正秋	57
7	9	内野手	松山義明	54
8	11	内野手	山口大二郎	58
9	15	投手	水溜精吾	53
10	16	内野手	米本賢三	33
11	17	外野手	黒木友和	56
12	18	内野手	林原安彦	58
13	19	投手	三坂善広	57
14	21	内野手	堤章	58
15	22	外野手	黒板慎一郎	56
16	23	内野手	朝長亮輔	60
17	24	外野手	木場健一	55
18	25	外野手	福田時浩	57
19	26	投手	香田勇弥	29
20	27	捕手	福田邦彦	55
21	28	外野手	小中尾政則	58
22	33	内野手	岡本将矢	33
23	36	外野手	尾上義則	55
24	48	投手	香田勲男	58
25				

8	支部名		西龍クラブ	B級
	平戸			
No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	内野手	小田典和	44
2	10	投手	平松走	33
3	1	外野手	北村太陽	22
4	2	内野手	土肥成実	44
5	3	外野手	宮崎剛	31
6	4	捕手	正木康寛	40
7	5	外野手	川上儀明	39
8	6	外野手	柳本浩	27
9	9	外野手	井手口芳人	43
10	11	外野手	住徳瑛	33
11	14	外野手	磯田俊太	23
12	18	投手	濱村修	33
13	19	内野手	川久保辰朗	43
14	21	投手	古川博斗	31
15	24	捕手	太田智成	33
16	25	外野手	福田翔也	28
17	26	内野手	岩崎有毅	29
18	52	内野手	土肥一葉	22
19	53	内野手	岩村崇弘	22
20	54	捕手	近藤佑馬	21
21	55	外野手	立石博信	22
22	69	投手	村井大樹	25
23	87	内野手	白濱花道	27
24	89	内野手	藤島綾太郎	23
25				

9	支部名 松浦		松浦ハイスターズ	B級
	No.	背番号		
1	30	投手	森 強	42
2	10	内野手	荒 木 悠 史	30
3	1	投手	福 田 準 也	31
4	2	捕手	吉 田 裕 次 郎	21
5	4	内野手	富 森 匠	21
6	5	投手	松 本 竜 一	31
7	6	外野手	池 田 一 哉	33
8	7	内野手	森 田 将	34
9	8	外野手	宮 田 慎 太 郎	26
10	9	外野手	大 坪 靖 人	30
11	14	内野手	高 野 仙 志	38
12	15	内野手	井 戸 淳 太	22
13	16	投手	小 畑 和 喜	21
14	18	内野手	金 子 秀 人	42
15	20	投手	池 田 昌 太 郎	38
16	21	投手	吉 浦 彰 二	48
17	22	外野手	立 石 滉 太	30
18	23	内野手	永 田 健 也	24
19	24	内野手	山 田 憲 人	35
20	25	外野手	浦 川 凜 太 郎	19
21	27	外野手	富 野 寿 朗	47
22	29	内野手	今 村 修	47
23	47	外野手	横 田 拓 也	28
24	55	内野手	崎 田 幸 亮	29
25	56	内野手	川 村 徹	22

10	支部名 長崎		ユニバーズ	B級
	No.	背番号		
1	30	捕手	橋 口 友 亮	32
2	10	外野手	岩 永 大 聖	24
3	0	内野手	石 本 拓 也	31
4	2	内野手	近 藤 逸 朗	25
5	3	投手	村 崎 傑	25
6	6	外野手	梅 井 翔 太	23
7	8	投手	田 浦 潤	32
8	9	外野手	吉 原 貴 大	30
9	11	内野手	山 口 宰	33
10	12	外野手	徳 永 廉	24
11	13	捕手	真 鍋 拓 馬	28
12	18	投手	竹 隼 弥	23
13	19	捕手	澁 谷 健 太	33
14	20	投手	西 田 廉	20
15	21	捕手	八 木 優 昇	20
16	22	投手	酒 井 祐 太 郎	31
17	24	投手	大 野 祐 馬	26
18	25	内野手	原 征 一 郎	33
19	26	内野手	田 原 彰 大	25
20	34	捕手	井 芹 峻 輔	32
21	49	外野手	塚 元 瞭 人	30
22	55	内野手	大 杉 遼 太 郎	24
23	66	外野手	堀 内 幸 宏	28
24	67	内野手	毎 熊 洸 星	20
25	77	外野手	森 光 洋	24

11	支部名 佐世保		佐世保市役所	B級
	No.	背番号		
1	30	内野手	田 添 泰 輔	44
2	10	捕手	迎 義 孝	35
3	2	内野手	川 内 野 聡 史	25
4	3	内野手	川 島 健 太 郎	36
5	4	内野手	早 田 幸 平	29
6	5	外野手	吉 田 京 司	24
7	6	内野手	濱 村 綾 一	28
8	8	内野手	松 永 拓 真	26
9	9	外野手	山 田 康 裕	33
10	11	外野手	浦 崎 裕 也	40
11	13	投手	吉 田 昌 平	33
12	14	内野手	吉 永 充 紀	48
13	15	投手	宮 崎 琉 太 郎	18
14	16	内野手	吉 田 修 三	27
15	17	外野手	小 池 太	40
16	18	外野手	江 川 大 貴	23
17	19	投手	吉 田 拓 郎	31
18	20	内野手	奥 山 晃 弘	26
19	21	内野手	西 畑 省 吾	34
20	23	内野手	須 崎 雄 太	22
21	24	捕手	下 條 光 希	27
22	25	外野手	吉 本 亮 将	26
23	27	外野手	村 井 正 木	49
24	28	外野手	草 場 健 太	33
25	29	投手	大 谷 一 主	24

12	支部名 上五島		上五島クラブ	B級
	No.	背番号		
1	30	投手	田 邊 洋 平	45
2	10	内野手	原 東 紀	33
3	0	内野手	竹 山 鍊	25
4	1	内野手	中 口 暢	33
5	6	内野手	佐 々 野 芳 則	44
6	7	内野手	橋 本 大 輝	22
7	8	内野手	山 口 朋 大	52
8	9	捕手	安 藤 翔 平	34
9	11	外野手	畑 村 輝 男	32
10	14	内野手	鉄 川 雅 之	43
11	15	外野手	前 田 耕 平	40
12	18	投手	松 下 真 人	20
13	22	外野手	宮 田 将 志	40
14	24	外野手	木 下 拓 見	24
15	25	内野手	川 口 秀 太	42
16	27	内野手	福 永 隼 也	33
17	29	投手	本 田 剛 志	35
18	33	内野手	出 口 銀 河	21
19	36	内野手	川 口 誠	39
20	42	外野手	原 隆 司	27
21	52	外野手	濱 上 勝 太	21
22	56	外野手	川 口 幸 孝	45
23				
24				
25				

13		支部名 島原		島原市役所野球部		C級
No.	背番号	位置	氏 名		年齢	
1	30	内野手	村	田 健太郎	41	
2	10	内野手	石	本 智 啓	35	
3	1	内野手	小	川 恒 生	36	
4	5	内野手	後	藤 崇 之	34	
5	7	捕手	入	江 光 希	23	
6	8	外野手	内	田 魁 人	27	
7	9	内野手	中	田 聖 弥	20	
8	11	内野手	西	川 史 洋	35	
9	14	内野手	中	鶴 真 一	39	
10	16	内野手	土	師 睦 晶	41	
11	17	内野手	吉	田 史 郎	54	
12	19	内野手	吉	田 修 三	52	
13	20	外野手	馬	渡 孝 治	43	
14	21	外野手	村	瀬 拓 哉	23	
15	23	外野手	杉	野 喜 代 志	56	
16	24	外野手	本	田 康 貴	26	
17	25	外野手	前	川 悠 哉	23	
18	26	内野手	江	鳶 大 貴	20	
19	28	内野手	野	田 叡 司	26	
20	29	外野手	岸	田 広 人	18	
21						
22						
23						
24						
25						

14		支部名 諫早		飯盛クラブ		C級
No.	背番号	位置	氏 名		年齢	
1	30	外野手	朝	倉 尊	60	
2	10	内野手	森	木 宏 成	22	
3	0	内野手	松	田 潤	22	
4	1	内野手	船	津 大 誠	22	
5	2	捕手	木	下 直 人	21	
6	3	内野手	渡	邊 泰 地	19	
7	4	内野手	平	松 春 輝	18	
8	5	外野手	吉	田 仁 将	25	
9	6	投手	岩	本 玲 旺	23	
10	7	外野手	山	口 悠 月	22	
11	8	内野手	朝	倉 大 空	22	
12	11	投手	山	崎 天 斗	18	
13	13	内野手	佐	藤 虹 輝	21	
14	17	投手	島	田 航 輔	23	
15	18	投手	諏	訪 原 龍 哉	21	
16	19	外野手	古	場 翔 太	21	
17	20	投手	青	木 悠 真	18	
18	23	内野手	山	本 大 地	20	
19	24	捕手	小	峰 史 也	29	
20	25	内野手	古	野 建 聖	22	
21	27	内野手	西	山 将 太	21	
22	31	内野手	村	松 尚 典	22	
23	32	外野手	入	江 公 朗	22	
24	34	外野手	朝	倉 一 貴	25	
25	77	投手	若	杉 優 樹	21	

15		支部名 対馬		OCEANS		C級
No.	背番号	位置	氏 名		年齢	
1	30	内野手	小	宮 茂 輝	36	
2	10	投手	春	田 朱 哉	25	
3	0	外野手	久	松 太 陽	19	
4	1	投手	宇	土 慎 太郎	27	
5	5	内野手	瀬	崎 魁	25	
6	6	内野手	春	田 龍 馬	27	
7	7	内野手	石	原 成 夏	20	
8	8	内野手	小	宮 祐 希	24	
9	9	内野手	春	田 一 成	27	
10	11	投手	春	田 剛 志	25	
11	17	投手	築	城 陽 聖	23	
12	18	投手	山	坂 真 心	33	
13	22	捕手	山	田 周	28	
14	23	外野手	松	永 耀 生	22	
15	24	外野手	小	島 飛 翔	24	
16	25	外野手	松	本 拓 之	34	
17	28	投手	村	井 竜 也	31	
18	51	内野手	一	宮 智 哉	26	
19	53	外野手	松	本 慎	25	
20	55	外野手	小	西 清 弘	34	
21	77	内野手	梅	野 恭 平	35	
22	99	外野手	春	田 竜 二	44	
23						
24						
25						

【一回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 A①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【本塁打】 【三塁打】 【二塁打】

【一回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 A②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【本塁打】 【三塁打】 【二塁打】

【一回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 B①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【本塁打】 【三塁打】 【二塁打】

【一回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 B②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【本塁打】 【三塁打】 【二塁打】

【一回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 C①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【本塁打】 【三塁打】 【二塁打】

【一回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 C②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【本塁打】 【三塁打】 【二塁打】

【一回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 D①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【本塁打】 【三塁打】 【二塁打】

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 A③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

【本塁打】

【三塁打】

【二塁打】

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 B③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

【本塁打】

【三塁打】

【二塁打】

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 C③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

【本塁打】

【三塁打】

【二塁打】

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/28 D②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【準決勝】① 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/29	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

【本塁打】

【三塁打】

【二塁打】

審判	球
	一
	二
	三

【準決勝】② 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/29	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

【本塁打】

【三塁打】

【二塁打】

審判	球
	一
	二
	三

【決勝】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/29	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計

【本塁打】

【三塁打】

【二塁打】

審判	球
	一
	二
	三

長崎県軟式野球選手権大会 歴代の優勝(準優勝)チームと決勝戦スコア ①

回	年	参加数	優勝チーム [回数]	決勝戦	準優勝チーム[回数]	大会のトピックス
1	26	10	日鉄御橋炭鉱(北松)	4-2	長崎刑務所(諫早)	二回戦の島原 - 大村戦は延長14回降雨引き分け翌日再試合
2	27	10	日鉄御橋炭鉱 2	4-2	下川商事(佐世保)	二回戦の諫早 - 大村東彼戦は八回日没引き分けで翌日再試合
3	28	10	共済病院(佐世保)	4-1	住友潜龍炭鉱	この年より準硬式球を使用。3連覇狙う北松勢を倒して佐世保共済がV
4	29	9	住友潜龍炭鉱(北松)	14-5	十八銀行	北松勢が銀杯を奪回し住友潜龍炭鉱が初優勝
5	30	9	住友潜龍炭鉱 2	2-1	長崎機械工具	住友潜龍炭鉱が2年連続で長崎地区勢を決勝で倒し連覇
6	31	10	長崎澱粉(大村)	2-0	長崎機械工具 2	南松浦が五島に変更。2年連続で決勝進出の長崎機械工具は又も準V
7	32	11	紋珠岳炭鉱(佐世保)	3-2	長崎県庁	この年より推薦枠を設ける。紋珠岳炭鉱はチーム編成1年目の快挙。
8	33	10	西肥バス(佐世保)	2-1	端島炭鉱(西彼)	西彼勢初の決勝進出の二度目出場の端島は二度目出場の西肥バスに惜敗
9	34	10	親和土建クラブ(佐世保)	2-0	西肥バス(佐世保)	佐世保勢同士の決勝戦。長崎日日新聞社が合併し長崎新聞社主催に。
10	35	11	長崎機械工具	3-2	日鉄北松御橋	長崎地区の初優勝は仇敵・北松を九回サヨナラで倒した長崎機械工具
11	36	8	日本冷熱工業(長崎)	7-1	長崎機械工具 3	初の長崎勢同士の決勝戦を制したのは初出場の日本冷熱工業
12	37	8	日本冷熱工業 2	6-1	長崎機械工具 4	2年連続の決勝戦対決は機械工具の雪辱ならず日本冷熱が連破
13	38	8	日本冷熱工業 3	5-0	澱粉クラブ(大村)	構想新たに参加枠を8チームとした大会で日本冷熱が3連覇
14	39	8	日本冷熱工業 4	4-2	九州電工佐世保	佐世保地区からの2強(親和銀行：初)を撃破し日本冷熱がV 4
15	40	8	日本冷熱工業 5	3-1	九州電工佐世保 2	準硬式球使用のラスト大会で日本冷熱工業が5連覇達成
16	41	9	長崎県庁	1-0	親和銀行	14年ぶりに軟式球使用大会が復活し県庁が初優勝
17	42	8	三菱重工長崎	1-0	長崎県庁 2	長崎勢が同士の決勝戦で三菱重工長崎が初優勝
18	43	10	三菱重工長崎 2	7-0	親和銀行 2	三菱重工長崎 V S 親和銀行、初の決勝戦。
19	44	12	三菱重工長崎 3	3-0	長崎県庁 3	長崎国体出場の重工(軟式)と県庁(準硬式)が決勝戦で雌雄を決す
20	45	12	三菱重工長崎 4	6-0	福江球友会	三菱重工長崎の4連覇に挑んだ福江球友会は離島勢初の準優勝
21	46	12	三菱重工長崎 5	4-1	長崎県庁 4	三菱重工長崎と三度目の決勝戦対決も準Vの長崎県庁
22	47	12	三菱重工長崎 6	5-1	松早石油店	長崎同士の決勝戦を制して6連覇達成の三菱重工長崎
23	48	10	カワシモスポーツ(佐世保)	2-1	諫早ドッグプラザ	1 - 1 延長の21回に決勝本塁打で初優勝のカワシモスポーツ
24	49	12	長崎県庁 2	3-0	長崎無線電報局(諫早)	福江・南松から上五島が分離。この年から一死満塁制の延長戦を採用。
25	50	11	三菱重工長崎 7	3-0	諫早クラブ	諫早クラブ初の決勝戦を封じた重工は3年ぶりのV
26	51	14	親和銀行	1-0	三菱重工長崎	平戸・松浦・県北の3地区が分離。三度目の決勝戦で親和銀行初優勝。
27	52	14	三菱重工長崎 8	4-1	有明町クラブ(南高)	11回目出場の有明町クラブ初の決勝戦も三菱重工に決勝3ラン
28	53	14	奈良尾クラブ(上五島)	5-3	中興化成工業(松浦)	決勝戦初登場の奈良尾と中興化成は離島勢初優勝の奈良尾に凱歌
29	54	16	長崎日野自動車	1-0	親和銀行 3	この年に諫早・北高、大村・東彼が分離。決勝戦は順延で佐世保。
30	55	16	長崎日野自動車 2	3-1	親和銀行 4	長崎日野・中村投手が八回までパーフェクト
31	56	16	長崎日野自動車 3	2-1	親和銀行 5	長崎日野の中村が自責点0のノーヒットピッチングで3連覇
32	57	17	親和銀行 2	2-0	長崎日野自動車	島原・南高が分離。決勝戦は4年連続同一カード。
33	58	17	親和銀行 3	2-0	有明町クラブ 2	有明町クラブ6年ぶり二度目の決勝進出するも準V
34	59	17	三菱重工長崎 9	7-1	長崎無線電報局 2	10年ぶりに決勝進出した長崎無線局は三菱重工長崎に苦敗
35	60	17	親和銀行 4	1-0	三菱重工長崎 2	9年ぶり三度目の親銀 - 重工の決勝戦対決で親和銀行が勝ち越し
36	61	17	親和銀行 5	8-2	三菱重工長崎 3	親銀VS重工の2年連続決勝戦対決は親和が連破し五度目のV
37	62	17	親和銀行 6	4-0	三菱重工長崎 4	ベスト4に離島2チーム(上五島&対馬)も親和と重工の壁は厚し

長崎県軟式野球選手権大会 歴代の優勝(準優勝)チームと決勝戦スコア ②

回	年	参加数	優勝チーム [回数]	決勝戦	準優勝チーム[回数]	大会のトピックス
38	63	17	長崎県経済連	1-0	親和銀行 6	二回目出場の県経済連が延長12回サヨナラで親銀の4連覇を阻む
39	元	17	親和銀行 7	1-0	長崎県経済連	前年決勝戦の再現は八回の決勝点で親和銀行が雪辱
40	2	17	親和銀行 8	1-0	大村市役所	初の決勝戦で親銀に立ち向かった大村市役所は0-1敗戦
41	3	16	親和銀行 9	3-0	中興化成工業 2	13年ぶりに決勝戦登場の中興化成工業だったが親銀の前に又も準V
42	4	17	親和銀行 10	1-0	JA長崎経済連 2	21回目出場の親和銀行は延長10回の決勝点でV10達成し4連覇
43	5	17	親和銀行 11	3-1	生月体協(県北)	33大会ぶりに北松地区から決勝進出した生月体協も親銀の前に準V
44	6	17	親和銀行 12	9-1	JA長崎経済連 3	大橋球場最後の大会で親和銀行の6連覇達成は三菱重工の記録に並ぶ
45	7	16	ソニー長崎(諫早)	3-1	三菱重工長崎 5	未踏の7連覇を目指す国体準優勝の親銀を封じてソニー長崎が初優勝
46	8	17	三菱重工長崎 10	1-0	ソニー長崎(諫早)	第3回大会から23回目の出場で12年ぶり10回目優勝の三菱重工長崎
47	9	17	親和銀行 13	1-0	ソニー長崎 2	ビッグN初の決勝戦で九回裏サヨナラ優勝の親銀は3年ぶり
48	10	17	親和銀行 14	5-0	ソニー長崎 3	かきどまり野球場完成年の決勝戦も親和銀行とソニー長崎
49	11	17	三菱重工長崎 11	1-0	親和銀行 7	三菱重工と親和銀行の12年ぶり六度目の決勝対決は重工に凱歌
50	12	17	三菱重工長崎 12	3-2	親和銀行 8	50年の歴史の中で12度目のVをサヨナラ勝利の2連覇で飾った重工
51	13	17	親和銀行 15	2-0	三菱重工長崎 6	親和銀行が三菱重工の3連覇を阻止したのは雨天順延した諫早球場
52	14	17	三菱重工長崎 13	1-0	親和銀行 9	重工-親銀、4年連続9回目の決勝対決はサヨナラ勝ちの重工が4勝目
53	15	17	親和銀行 16	5-4	三菱重工長崎 7	六度目出場の波佐見鴻ノ巣は初の決勝戦目前で重工に3-3抽選負け
54	16	17	親和銀行 17	8-0	三菱重工長崎 8	6年連続11回目の決勝対決は親銀が2連勝の7勝目で重工に大勝
55	17	16	三菱重工長崎 14	7-0	TEAM橋口(大村)	北高支部が消滅。2連覇中の親銀を初戦で封じたTEAM橋口が初の準V
56	18	16	親和銀行 18	8-2	三菱重工長崎 9	西彼杵が西海、南高来が県南と支部名変更。島原と県北にチーム変動。
57	19	16	三菱重工長崎 15	4-0	TEAM橋口 2	TEAM橋口が二回戦で親銀を封じて二度目の決勝進出するも又も重工に
58	20	19	アイケン医院(佐世保)	3-0	舛田グループ(上五島)	19チームの頂点は特別推薦出場のアイケン医院が舛田グループを下す
59	21	16	親和銀行 19	4-3	三菱重工長崎 10	3年ぶり13回目の親銀-重工の決勝戦対決は八回逆転で親銀が9勝目
60	22	23	親和銀行 20	3-1	アイケン医院(佐世保)	23チーム参加の60回記念大会は2年連続県内公式戦無敗の親銀がV20
61	23	16	親和銀行 21	7-0	(株)南原(大村)	三度目出場の南原が3試合無失点勝利で初の決勝進出も親銀に無得点
62	24	16	親和銀行 22	3-0	三菱重工長崎 11	3年ぶり14回目の親銀-重工の決勝戦対決は親銀10勝目で4連覇中
63	25	19	親和銀行 23	7-4	三菱重工長崎 12	長崎国体競技力強化でA級4チームが推薦出場しA級がベスト4進出
64	26	19	親和銀行 24	1-0	三菱重工長崎 13	19チーム参加大会で二度目の大会6連覇を20年ぶりに達成した親銀
65	27	16	三菱重工長崎 16	7-0	舛田グループ 2	二回戦で親和銀行を倒したTEAM橋口は準決勝で舛田グループに0-3
66	28	16	親和銀行 25	5-2	三菱重工長崎 14	親和銀行が三菱重工から覇権を奪回し25回目の優勝
67	29	19	親和銀行 26	2-0	JF長崎漁連野球部(諫早)	A級4チーム推薦出場大会で初の決勝進出した新規A級の県漁連野球部
68	30	18	親和銀行 27	6-0	三菱重工長崎 15	2年ぶり18回目の親銀-重工の決勝戦対決は親銀が14勝目
69	元	18	親和銀行 28	2-0	三菱重工長崎 16	2年連続決勝戦で三菱重工を零封した親和銀行が近年11大会で10回の優勝
70	2	18	十八親和銀行 29	3-0	三菱重工長崎 17	新型コロナウイルス禍中の第70回記念大会は初の諫早支部主管で開催
71	3	18	十八親和銀行 30	7-1	三菱重工長崎 18	4年連続21回目の決勝戦対決。三菱重工長崎は次年度から休部
72	4	17	十八親和銀行 31	4-1	エンジェルス(佐世保)	佐世保支部同士の決勝戦は第60回大会以来。十八親和銀行が未踏のV7。
73	5	15				
74	6					

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。



「カキーン！」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。



(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

本大会使用球
MARUS BALL
マルエスボール

タイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

タイワホウグループ